

防災隊 26 名の隊員は大震災に備え以下の日常の活動を行っております。

- 防災隊、自治会、管理組合で、年間計画を立案、活動を行っています。
- 月例防災機器、防災井戸の点検

- エレベータ閉じ込めによる救出訓練
 - 人命救急訓練・AED 講習
 - 啓蒙活動としての春秋 2 回の防災訓練
- “初期消火・地震体験・煙ハウス体験・応急手当等訓練

防災隊の災害に備えての活動

活動前ミーティング



エンジン発電機等

機器点検

防災備品 リヤカー等



エレベーター救出訓練 機械室での籠降下作業



扉前救出



AED（自動体外式除細動器）の取り扱い研修

簡易式トイレの組み立て



担架搬送



お知らせ

- 8/31(日) 10時30分～ 横浜市総合防災訓練 日立製作所(吉田町 292、東戸塚小学校そば)「救助救出」見学場所設置(当日直接会場へ)他2箇所
連絡先戸塚区役所 866-8307
- 9/1(月)10時30分～神奈川県防災訓練 横須賀新港埠頭(横須賀市新港町)
- 10/26(日) 県ドリームハイツ 秋季防災訓練 10:00～



防災訓練 初期消火



防災訓練 消防署深谷出張所参加

防災訓練 地震体験

地域防災拠点について

震災により建物が倒壊、あるいは危険のあるときに一時的に避難生活を送る場所です。深谷町・俣野町の震災時避難場所は「深谷台小学校」です。

防災備蓄庫には、救護用品、生活用品、食料・水(仮設組み立て式トイレ)(ろ水機)(紙おむつ)(乾パン)(粉ミルク)(お粥)(水缶詰)(生理用品)(トイレットペーパー)(移動式炊飯器)等の備蓄品が用意されていますが避難生活維持にはまだまだ不足気味です。ハイツの皆さんは自分自身の食料、水を最低3日分位災害時持ち出し用として常備しておいてください。

地域医療救護拠点について

大震災時、家屋の建物の倒壊により負傷者が発生したとき、発災から3日間程度応急医療を行う救護場所です。深谷町・俣野町の救護場所は「深谷中学校」です。

重傷者等さらに医療が必要なときは救急車で他の医療機関へ搬送されます